

「新庁舎タウンワークショップ」開催結果

■ 10月13日（火）那加西福祉センター

■ 参加者6名：2班



1 班

市民×企業×行政＝市を盛り上げる拠点

- 市民と行政がつながる場所
- 市民、企業、行政と一緒に話せる場
- 市民・企業・行政のコラボスペース→文化創造・発信→シティセールス
- インキュベーション的な機能
- まちづくりの拠点にする
- 若い人が集まることに費用をかける
- 若者たちも集まれる場。音楽や映像をつくれる場、スペースなど
- 行政と企業（個人）もつなげる事のできるコワーキングスペース
- 家族で住みやすい地域であることを活かす
- 市の拠点。図書館とか色々集まる場。そこに若者も集まれるようだとい
- 市民と行政をつなぐ情報発信機能スペース

分かりやすい案内・窓口機能

- インフォメーションの機能
- 親切的案内・分かりやすい案内
- 総合案内は正面にあってそこから広がる感じがよい
- 案内のできるコンシェルジュのような人がいるとよい

50年後を想定した庁舎

- 場所が大事である
- 高齢者も住みやすいまちである
- ①コストの件、②将来のまちづくりの観点での市庁舎づくり
- 仕事以外でも活動できる場所
- コスト面も重要
- 情勢も人の考えも時代で変わるので、50年ごとに庁舎も変えていくのもあるのではないか
- まち全体の50年後も考えた庁舎の建設
- 50年経てば考えからも変わる。建て替えてもいいだろう
- 50年経てばコンクリートは風化する

市民の安心・安全を守る

- 各務原市は災害の心配がない
- 道路が弱い
- バリアフリーの充実

駐車場・駐輪場

- 駐車場の問題
- ゲート式で、無人でよいのではないかと

2 班

利用しやすい設備

- 現庁舎は身体障害者への対応が少ないのではないかと
- 来庁者アンケートなどで市役所に求められるサービスを、しっかりと精査する（調査結果は活かす）
- 設備にはしっかり予算を使うべきだと思う→例えば、LEDの照明を使用する等
- ランニングコストのかからない設備
- 職員が最も利用するはず。職員の機能性が大切
- 短時間の利用者が多い
- サインひとつとっても、進化の余地がある

窓口の機能

- 窓口業務を集約化して、利便性を高める

駐車場・駐輪場

- 1台あたりのスペース確保
- 現状は大きな車ははみ出してしまう
- 駐車場もIT化でスマートにする

市民の安心・安全を守る

- 有事にあの地域は大丈夫か。自衛隊から離れた所はどうか
- 有事の想定もし直したほうがよい
- 現庁舎の耐震対策をやる方法は考えられないかと

複合型・分散型(コンパクト・スリム)

- 良い立地条件を生かして、他の機能を付加できないか
- 複合ビルの（ドイツの例、商業施設と併設）な発想もあると思う
- 基地と離すという点で場所を変えるのも一つの手。都市の将来像も考えよう
- 各務原は東西に長いので高齢者のために庁舎を東西に分けてはどうか
- 鶴沼からは遠い。2つに分けることも検討してよいのではないかと
- 機能を分散すれば、コンパクトな庁舎にできる可能性もある→市役所でないとできないことに機能を絞る
- 住民票がコンビニ等で、さらに簡単に取れる様になるとよい
- 職員向けの、職員が自由に意見が言える庁舎ワークショップを実施した方がよい
- 利用度の高い機能を集約していく方がよい

■ 10月14日(水) 那加福祉センター

■ 参加者 5名 : 1班



利用しやすい設備

- バリアフリーに配慮する
- 車いすがすれ違えるように通路は広く
- 初めての人もわかりやすいように、入ってすぐに案内表示がほしい
- あまり用事がない。キッズスペースがあるとよいのではないか
- キッズスペースはなくてよい。親が子どもを放置した際の事故など、責任問題が発生する

窓口機能

- 市民が利用する部分は、1～2階に集約が望ましい
- 出来るだけ訪問する窓口は1箇所でするように
- 分庁舎になっているものを集約してはどうか

交流機能

- コミュニケーションのためのCAFÉがあってもよいと思う
- 誰でも入れる・入りやすい食堂・CAFÉがあるとよい
- 喫茶店、なくてもよいかもしれないが、コミュニケーションがとれる場所として、利用されるのであれば必要(市民だけでなく職員含め)
- 地下食堂を今も利用している。外部の人にもPRして、利用を促してはどうか
- 役所に用事がなくても行きやすい→行く必要があるときに、より行きやすい
- 若者が利用したくなるような仕掛けがあるとよいと思う

庁舎のデザイン等

- 高層でない方が高齢者にとってよい
- 円形でオープンな印象がよいと思う
- 円形の建物にして、オープンな感じを出せるとよい
- 1F、2Fで広いつくりの見た目がよいと思う
- 親しみやすさとは何か。分かりやすいことが大切

防災機能

- 通常の会議室を転用するのではなく、災害対応の特別室を常設する

その他

- 今の庁舎にも満足している
- 現在でも職員が笑顔で迎えてくれる
- 役所の対応がとてもよくなったと思う
- 途中で建設費が倍になったりしないように予算はしっかり算定してほしい
- イベント・交流は他の場所でもできる。そこまで考える必要はないのではないか
- 交流等の付加価値は、他の施設でもできる
- 現段階であれば、意見を反映することが十分可能である
- 必要な機能を精査して、決める必要がある
- 機能の精査は重要
- 総合体育館の食堂がなくなって困っている
- 新庁舎が他のエリアに出来れば、そこが活性化することも考えられる
- 機能重視でできるだけ安価におさめるとよい
- 機能を増やすと人員も必要になると思う

■ 10月15日(木) 稲羽コミュニティセンター

■ 参加者 10名 : 2班



1班

利用しやすい庁舎

- 使いやすい庁舎
- サービスセンターの機能が充実すれば、市役所に行かなくて利便性が高くなる
- 「市の顔」として大通に近い方が便利。初めての人もアクセスがわかりやすい
- 高齢者・障がい者への配慮、やさしい庁舎。バリアフリーは当然、雨天時も駐車場に屋根があるとよい
- 通路は車いすのすれ違いが可能なように

駐車場・駐輪場

- 現庁舎では、雨天時に駐車場が不便でスペースも不足→地下駐も考えてほしい
- 現状本庁舎138台。新庁舎はこれから検討していく。アンケート等でも同様に聴く

市民に親しまれる庁舎

- 誇れる庁舎
- 建物の日本一を考えるのみでなく、利便性やサービスでの日本一を目指してほしい
- 「日本一」を新しい方向で目指してもよい
- ソフトで日本一を目指す

相談機能

- 福祉関係は、特に1階に集中するように。(今は2階) 分庁舎に行かずにすむようにする
- 現状でも書類を支所で渡せば庁舎に届けてくれる。ただし相談は庁舎に行く必要がある

機能分担について

- 各地の施設機能の役割分担も考える
- 色々な視点。可能性を考えてほしい
- 市民にわかりやすく説明をしていくべき
- 学びの森なども、今ある機能を生かすべきで、候補地からはずす
- 高齢化が進めば分散化していく方が利便性が高いのではないか
- コストも考えながら、しっかりと市民の使いやすい施設を目指す
- 機能と規模を考えながら検討をしていくべき
- これからの時代を見据えて考える
- これから必要な行政サービスを考えながら検討していく

庁舎の規模及び配置

- 総合的に他の施設も考えて市役所の規模を考えるべき
- 小中学校は耐震をしている。何故庁舎はしないのか
- 現状、市役所は 4 ヶ所に分かれている。産業文化センター、総合福祉会館、水道、これらは統合されるのか
- 15 万人都市の庁舎をつくる中でのあり方も考えてほしい
- 総合福祉会館への移転では、狭いのではないかと
→土地取得も含めて考える
→場所も最終決定ではない
- 現状の規模で考えるだけでなく、機能分散して考えた方がよいのではないか
- 機能を十分に考えて、本当に必要なもの考える
- 都市の中での配置計画を総合的に考える

2 班

機能集約

- 分庁舎ではなく、一カ所に集約してほしい
- 高齢者にとって、分庁舎はつらい
- はじめての人でもすぐ分かる様なつくり
- 学びの森の場合、踏切を高架にする等混雑緩和する工夫が必要
- 車イス利用者などにとって移動のロスが少ないように
- 看板等のサインの文字を大きくしてほしい
- バリアフリーに配慮
- 学びの森庁舎を建設すると利便性がよい

市民に親しまれる庁舎のデザイン

- 階段を明るく
- 今の庁舎は暗い。明るい（白）イメージにしてほしい
- 学びの森が新鮮でうれしい
- 水の都各務原としてアピール
- デザイン的により庁舎設計
- 多業に入ってもらって経済効果も
- 市役所の中からも外からも入れる飲食店
- 大手 CAFÉ に入ってもらおう。（もうかる工夫も）
- 世界の住みやすい都市（人口 15 万人以下）に選ばれた

駐車場・駐輪場

- 駐輪場の位置をわかりやすく
- 駐車場の出入りが不便。だから自動化等してほしい
- 24 時間利用できる駐車場
- バスでも対応できる駐車場にする
- 駐車場から入口までに屋根を設ける
- 駐車場のマスを大きく設計する

交流機能

- 世代間の交流が生まれる様な施設
- 高齢者世代と若い世代が交流できる場所を“市役所”だからこそ設ける
- これからの若い世代が納得する庁舎に

防災機能

- 現庁舎と消防本部が離れるのは安全面で考慮しなくてはならない

その他

- 市役所を利用する機会が少ない
- 高さ制限があるがどうするのか→高さを守り横に広げる
- 条例の変更もありではないか（学びの森の高さ制限）
- ヤマザキマザックさんの地下化を参考にしてほしい（空調等）
- 財政計画をしっかりと考える
- 学びの森の受けている補助は大丈夫か



1 班

移動しやすい空間

- 豪華なものではなく、実用本意にしてほしい
- 直線的で利用しやすい空間設計に（円は分かりにくい）
- 高齢者が訪れやすい建物に。上階への移動も容易に

わかりやすい案内

- ラインなどの案内も必要
- 案内する人がほしい（今もいる）、継続していく、機械のみに頼らない
- 案内は、ボランティアも活用→生きがい、楽しみ、誇りに感じる人もいる

駐車場・駐輪場

- 駐車場の台数確保と1台あたりのスペースに余裕を

議会施設

- 明るいと市民にとってもわかりやすい
- 会議室の利用も効率を考えて
- 市民も使える会議室があるとよい
- 議会の傍聴席をしっかりと確保（現状は少ない、狭い）
- ネットの活用など、議会、傍聴も時代に応じて最適なものを考える
- 市民が気軽に集まり、交流できる会議室が必要→狭い地域の集まりでなく、地域をまたいだ集まりに活用する

窓口機能

- サービス（市民）センターでかなりの用事は済ませることができる
- 透明性の高い庁舎、部署間の横のつながりも大切に、市民のことも考えて→フロアのづくりも大事

市民の理解

- 建設が市民の負担にならないように
- 100%の人が新庁舎建設に賛成ではないと思う
- 免震は本当に信用できるのか。昔からの工法でもよいのではないか
- 市民が本当に納得しているのか。きちんと説明が必要
- 説明をしてからでないと、意見を言うことも難しい
- 財政の見通しはどうか→基金を15億/年で積み立てている。市民の負担にならないように検討している
- 基本は直線。曲線は高価になり、剛性も一般的に低くなる
- 地方公務員法第30条の理念を大切に
- サービスセンターの機能を充実させれば、本庁舎をコンパクトにできる
- タイムスケジュールは、平成27：計画→平成28：基本設計→建設
- 市民への説明が重要

2 班

分かりやすい案内

- トイレ等わかりやすいサイン
- 外国人、身障者に対する対応が増えるので大切に

駐車場・駐輪場

- 今の車は大きい。駐車場がせまい
- 車はフリーにしてはどうか
- 駅が近いので、パーキングのフリーはどうか
- 車の自動発見機は体に悪い

防災機能

- 耐震性に関することが最優先事項
- 防災に市民がどの程度守る能力があるのか
- スペースが広すぎて、強度が弱くなってしまう
- 防災が最も大切
- ヘリポートがあった方がよい

交流機能

- おかしを配る等親しみやすさをアピール
- 展望レストランをつくとよい
- 市役所レストランで集会できるような利用でもよい
- さらに、経済性を高めると付加価値が増すと思う

情報発信機能

- 市の情報がひと目でわかるようにする

その他

- 現業務の中にニーズがあるのではないかと職員がまず考える
- 空間が広すぎて無駄があると思う
- 全国の事例を参考にしてはどうか
- 現状の案内もとてもわかりやすくてよいと思う
- 相談への窓口が分かりにくかったことがある
- 川島役場でことたっていて、市役所はいかない

3 班

窓口機能

- プライバシーの配慮（席の間につい立を設けるなど）
- イスの高さがもう少し高いとよい
- 現在いる総合案内の人が優秀なので、ずっと引き継いでいってもらえるとよい

わかりやすい案内

- 行きたいところにパッと行ける案内や表示があるとよい
- 色等で工夫する

行政サービス機能

- 一か所に機能を集約する
- 市役所機能を集約
- 川島でも行政サービスを受けられると便利
- 市役所までわざわざ行かなくても、川島でも行政サービスを受けられるとよい
- いろいろな場所でも、いろいろな機能を利用できるように

駐車場・駐輪場

- 交差点と駐車場出入口を離して作る
- 右折して出るのは大変。左折して出る
- 出入りしやすいルートの確保
- 車止めを両方につけてほしい
- 駐車スペースに余裕をもたせる
- 地下に作ると良いのではないか
- 屋根つきが便利
- 利用時間 2 時間では短いので、3 時間だと良いのではないか
- 本当に利用する人が増える駐車場
- 満車であることが多い。もっと利用しやすい駐車場にする

アクセス

- 産業会館と地下道で行けて、さらに駅ともつながると便利

交流機能

- 居心地の良いサロンのようなカフェスペース（目かくしがあるとよい）
- 2 階にドトールが入るとよい
- セルフのカフェスペース
- 名古屋市役所のように結婚式のできる庁舎
- シンボルになるような庁舎を

防災機能

- 地震の時に避難した人を収容できる部屋がほしい
- ヘリポートの必要性はあるのか（つくるには費用がかかるが）

防音

- 完全防音
- 防音のために締め切っているが、空調の工夫を検討（自然の風が入るように風通しを良く）

階段など

- 手すりをつける
- 明るくする
- 階段が明るい利用する人が増えるのでは

その他

- メンテナンスのしやすい庁舎（長く使うことを考えて）
- ピカピカで真っ白い壁は年数が経つと汚れが目立つ。木等の自然の素材を使って落ち着いたスペースにする
- 人の歩きやすい床材
- あまり予算のかからない庁舎を（人口減少を見込んで）
- 喫煙所。中途半端に分煙するのではなく、完全に分煙する
- ATM の位置は、入口付近でない所に設置

4 班

分かりやすい案内

- 窓口に行くとき迷う（特に高齢者）わかりやすくするとよい
- 手続きによって、窓口をまわらなければならないので一か所で終わるように
- 見える化→窓口の混雑状況、案内など電光掲示板の設置
- 職員が担当ごとで窓口に来る（来庁者は動かない）
- 分散しているため、2~3 回行く必要がある。一緒にするとわかりやすい
- コンシェルジュの配置。横割りの対応

駐車場・駐輪場

- 駐車場がせまい（すぐ入れない）
- 庁舎分散。一ヶ所に集約。駐車場を広く

市民に親しまれ、行きやすい庁舎

- お茶のできるスペースがほしいが、スペースは大丈夫か
- 子連れの来庁者のための託児スペース（キッズスペース）があると親しまれる
- もっと気楽に行けたらよい
- 市役所はサービス業、年中無休とすることも必要ではないか（土日閉庁）

防災機能

- 機能するのは職員。建物が丈夫でも職員が動けないとだめである
- 地震対策で建替えということだが、水害にも注意。敷地の高さも考える必要がある
- 各務原の地盤はどうか→台地で丈夫
- 耐震なのか免震なのか→免震の方が効果、導入事例は多い
- 耐震レベルはどのように考えているか→Is 値は0.9以上にする

その他

- 建物の高さはどうなるのか→30m程度（5～6階）
- ビックリするような庁舎
- わざわざ市役所には行かない
- 身の丈にあった庁舎、ソフトの充実の方が大切
- 外国人が多い。その方たちの意見は聞いているか→そういう機会も設けたい
- 健康保険のことで適切なアドバイスをいただけた。職員の対応が大切

■10月19日（月）鵜沼福祉センター

■参加者17名：3班



1 班

窓口機能→ワンストップ

- 多機能化を進めていく。訪れた人にとっておもしろい施設にする
- 駐車場で行き先を告げた時に、何階にあるかなどを教えてもらえるとよい
- 案内表示を大きくして、分かりやすく
→参考：県総合医療センター
- ワンストップサービスを充実させる。「提出はこの場所」「受領はこの場所」の2箇所にできるだけ集約して分かりやすくする
- 端末を使える人はそちらで、そうでない人は窓口などで、利用する人に応じたサービスを考える
- 現在のように産業文化センターと分庁するのなら、渡り廊下などでつないでほしい
- たらい回しがないようにする
- 「市民向け」「市民と業者」「業者向け」の3つの分け方で窓口を考える

市民に親しまれる庁舎

- 市民から親しまれるのは基本
- ビアガーデン
- 記念写真プレゼント（フォトスタジオの設立）
→撮影は職員で写真が趣味の人を活用する、あるいは、市民の持ち込み機材で行うなど
- 健康器具やアスレチックを置いて、雨でも遊べる
→健康で医療費削減、器具は企業からモニターで提供してもらおう（交渉する）
- 魅力ある本庁作り
→市役所とは何かを考える
- 各務原市にしかない、日本のどこにもない市役所を目指す
- 温泉もあるといい
- 市民の市役所、発想を変えよう

市民の安心・安全を守る

- 職員の資質が上がる環境がつけられる市役所にする
- 公共工事をはじめ、効率よく、事業をすすめてほしい
- 本庁の一番のキーは危機管理。日常業務はサービスセンターで担うことが可能
- ヘリポート、災害対応も考えて

庁舎のあり方

- サービスセンターの機能が充実すれば、本庁は小さくてもよくなると思う
→ネットで繋いで、核として本庁舎、ハブとしてサービスセンターがある、という考え方もある
- 日常サービスはサービスセンターにまかせる
- サービス向上。市役所の基本はサービス。ハードでない
- アクセスの面で鉄道は外部からくる人には便利。ただ、一般市民にはあまりメリットがない
- 候補地は中心部になっている。駅にこだわらず総合的に交通の便がよければよい
- 細かい部分もしっかりと考えながら進めてほしい
- コンセプトは何か。何が一番メインなのか
- もっと多世代の意見を伺いたい
- 文化施設の上に市役所があってもよい
- 自分の勤める企業でもLANを推進したが、市役所にも12年前にLANを提案した
- 現状、サービスセンターは市内に6ヶ所。ハコはある。あとは中身
- 本庁では行政施策をつないでいく機能を充実させる
- 行政に必要な機能も空き家で済むなら、その活用も考えられる
- 建設予定階数は→未定
- 新しい意見を募るだけでなく、過去の「市民の声」を拾ってはどうか
- どの地域から見ても平等な場所がよいのではないか
- 本庁でしかできないサービスを考えよう（例：ランチが旨い・安い、本庁の魅力づくり）
- 職員の多能化教育も進める

2 班

建設場所について

- 官庁関係が集合している配置がよい
- 学びの森がよいと思う
- 学びの森だと使いにくくなると思う
- 中心市街地ではなくて、山側等に土地を求めようか
- 一つの庁舎で全て事足りるようにしてほしい
- 広い場所が使いやすいと思う
- 交通の便がよいところがよいと思う
- 市民公園の場合、駐車場はつくれるか
- 市民が使いやすいのが最も大切である
- 今後の業務増を見越して、大きな場所が必要

利用しやすい設備

- トイレも分かりにくいのでわかりやすく、階段の近くに
- きれいなトイレ
- 階段が暗いから明るく
- エレベーターが遅い

分かりやすい案内

- 行くのは数年に一回なのでわかりやすくしてほしい
- 案内係がいるとわかりやすくしてほしい
- グループ（課）分けを工夫する必要
- 出来るだけ早くやってほしい

交流機能

- 春日井市の展望レストランのような市民が使いやすいレストラン等
- 使いやすい食堂。安くてもボリュームあり
- 市長室は親しみやすい場所に
- 図書館の分館が入っている

デザイン

- 他の市にも誇れるようなデザイン
- デザイン重視しすぎて欠陥のないように

防災機能

- 防災の拠点は低層階がよいと思う

その他

- 予算のことがやはり気かりである
- 食堂利用の場合はどうすればよいか
- 土日も開いている
- 街路樹も本当に必要かどうか考える必要がある
- ソフトの面もしっかり考えてほしい
- 学びの森の樹木を切ってほしくない

駐車場・駐輪場

- 駐車場が少ないので増やしてほしい
- 駐輪場がせまいので、広くつってほしい

3 班

利用しやすい設備

- 車いす・スロープの常設
- 階段の暗さが気になる
- トイレにウォシュレット便座クリーナーの常設、身障者を意識した設備
- 庁舎の食事、飲み物は、まずいと感じる。市民も利用できる場所として利用できる明るい食堂にしてほしい

窓口機能

- 入所児の子どもの受け入れの場所の確保はどうするのか（毎月 1 日）
- 他市の職員からの問合せをたらいまわされたが、今後そういった場合の対処方法を検討
- 申請書の受付

分かりやすい案内

- 目的部署へ床に線を引く（線ごとに色分け）
- 案内表示に外国語も必要（外国 2%在住）
- 各階ごとに案内表示を設ける

駐車場・駐輪場

- 公園のように利用する
- 土日には市民に開放できる駐車場を提案する
- 新庁舎には、駐車台数の余裕をもって広さを検討してほしい
- 台数を増やす

交流機能

- 地下にある食堂を最上階に設置するのはどうか。市民に眺めのよい場所の提供を考える
- 市の PR ビデオコーナーがほしい
- 各種お店を出してほしい
- ロビーに自由に使用できるパソコンを設置し、市のホームページを常時にいつでも見られるように取扱マニュアルを常備
- 市の施設としてどのような建物があり、どのようなサービスを受けられるか説明するコーナー

防災機能

- 建物の屋上に避難場所を考える
- 避難場所には外から行ける階段を利用
- ノルウェー オペラ座は、防災機能として非常に参考になる
- 防災、災害時の給水が必要

セキュリティ

- 職員の教育を充分に行う
- 個人情報漏れのないこと
- 建物のセキュリティだけでなく、情報のセキュリティを第 3 者が検証する定期的な委員会の設置



分かりやすい表示

- 庁内の案内も多言語化が必要

移動しやすい空間

- 近い階には階段を使ってもらえるよう、エレベーターの横に設置するなど使いやすくする
- 階段・非常階段は建物の中央で、誰でもわかる位置に設ける

駐車場・駐輪場

- 平面駐車場
- 駐車場のスペースも確保（一台あたり広く）
- 犬山のヨーカドーのような駐車場は使いにくい
- 駐車場の出入りを安全に（信号など設置）
- 出入口は逆光に配慮
- 地下や複層は不便（カーブや照明等）

防災機能

- 防災無線は大雨の時など聞こえない。機能するの心配である
- ツイッターの活用も考えよう（市のアカウントはある）
- 災害時には市のHPを災害専用のレイアウトにし、多言語にも対応
- 市民が災害時でも安心を感じられる市役所であってほしい
- 災害時だけでなく、有事の際のことも念頭におくべき
- 災害対策本部室は普段はどうしているのか→会議室にも使っているケースが多い
- HPのみに頼らない。災害時の対応も必要
- 雨水等を屋上に貯める
- 木曽川の水を災害時等に利用する
- トイレを流すための水の確保（災害時）
- 緊急時のみ自家発電は難しいのではないか。日常から自家発電を基本に考える
- インフラ（電気・上下水道）をしっかり整備

情報発信機能

- 市政情報の発信だけなら、そういう場所は不要
- 情報発信スペースは不要。用件があって来ている。暇で来ているわけではない
- デジタル情報に対応できない人のことも考える
- 広報が一番身近な市政情報を知る手である

市民に親しまれる庁舎

- 職員の資質の問題でもある
- 食べ物だけでは親しみは生まれない（当たり前）
- 食堂・喫茶を最上階に設け、低価格ランチを名物にする→市民が集まる
- 各務原の紹介ができるようなギャラリー
- 親しまれる最大の要因は「人」である。まず笑顔が重要
- 桜並木、屋上庭園があるとよい
- 屋上にいこいの空間（庭園など）があるとよい

議会施設

- 市議会中継の解説をしてほしい
- 議会の議場は市民とフラットな意識を持てるようなイメージに。赤じゅうたんはよくない
- 市議会にも興味がある
- 誰もが思った時にふらっと傍聴できる（したくなる）市議会
- 入りやすい議会に。議員の意識も向上する

ワークショップについて

- 新庁舎に関して、何も知らなかった。参加者も少ない
- こうした集まりも声のかけ方で参加者は増えると思う
- 外から最近来た人の意見も聞くことも大事

費用について

- 費用の問題が最も重要。オリンピック競技場のような問題が出てくるかもしれない
- 費用対効果をしっかりと考慮してほしい
- 産文センターとツインタワー化してはどうか

その他

- 職員は制服を着てほしい。気持ち引き締まる
- 制服を着てはどうか



1 班

誰もが利用しやすい庁舎

- きめ細かくすれば規模は大きくなる。スリム化が必要になる
- サービスセンターの機能を充実させる
- 今は窓口でプライバシーが守られていない。守られるようにする
- 窓口を統合していく。さまざまな機能の窓口は同一で職員が替わって対応していく
- 各地区でサービス対応できるのが本来のあり方だと思う
- 高齢化が進めば各地区にあるのがよい
- 今までの市役所は信号が不便だった。学びの森だと踏切があるので高架にしてはどうか

駐車場・駐輪場

- 職員の駐車スペースはどのぐらいか→現在の駐車場は、職員は使っていない

防災機能

- 防災拠点として、ヘリポートの設置も必要ではないか
- 経済・防災も考えて、ソーラー発電も導入する
- 学びの森、市民公園がよい。災害時に大きな土地と隣接していて利便性が高い
- 防災拠点として、防災センターを設けている市町もある。検討してはどうか
- 大きいものを作っても行く用事はない。小さくて丈夫なものをいくつか作る方がよい
- 備蓄(災害時)は各避難所にある。広く備蓄するために庁舎にも設けてはどうか

市民に親しまれる庁舎

- 現状、1階は事務スペースの雰囲気。サロン風にしてもらうと入りやすい

新庁舎の建設に関して

- 社会の変わり方、考え方の変化が激しい。それに対応していかなければいけない
- 新しい庁舎は、後世に誇れるものに
- 建設場所確保のために、等価交換で用地取得してはどうか
- 福祉会館では狭すぎる。候補地は実質3ヶ所ではないか
- 現庁舎の設計図・完成図と比べ、現在、どこがどう欠陥・老朽しているか調査したのか。建設当時の現場監督は、80、100年でも耐用できる自信があると言った。100億では、150億にもなるのでは。当時を知る者として言いたい
- 今後、高齢化もピークを迎え、人口は減っていく。それも見越した計画づくりをすべき
- なぜこの段階で意見を聞くのか→ハード・ソフトに関して「どうしてほしいか」をお聞きたい
- 市民会館周辺に大規模民有地があるが、そこは可能か→公共交通、施設との関連性も考慮する必要がある
- 支所機能を考えながら市の組織も合理化していく
- 本庁では、中央病院と小規模病院の連携のような感じで、支所に対応できないものだけに絞る

2 班

建設場所について

- 学びの森は、道路上難しい。現庁舎の場所で
- 現庁舎の場所がよいと思う
- 学びの森は水害の可能性がある
- 踏切から立体交差に変更してほしい
- 機能を集約して一ヶ所の庁舎で事足りるように
- 今後の人口減少を考慮し、規模を考える

窓口機能

- ドライブスルーで窓口業務を行う
- わかりやすいサイン等をさらに充実させる
- 窓口を一ヶ所で全てできるように
- 現在の市役所の対応はよい

駐車場・駐輪場

- 駐車場が少なくてせまい
- 駐車スペース増のため、半地下式等
- ドライバーの待機場所がほしい

交流機能

- 美術館の中にある市役所(コンセプト)
- キッズスペース、カフェスペース、発表の場、交流のためのスペース
- 子どもの一時あずかり所があるとよい
- 絵画等を展示したりして親しみ感を増す
- 明るいイメージで親しみやすい場所
- 世代間の交流が活発になるよう
- 市役所でお昼が食べられるように
- 子どもや高齢者が喜ぶようなメニュー、タニタ食堂のイメージ

防災機能

- 災害時のために救急スペース
- 発電機等の災害機能は地下につくらない
- 災害時に道路の確保、ヘリポートの整備

3 班

移動しやすい空間

- バリアフリーの充実
- エスカレーターがあるとよい
- 福祉で住みよい町づくり
- 手続きをスムーズに
- 手続き等がスムーズにできるようなシステム
- 各階に多目的トイレを設ける
- 明るい市舎に

分かりやすい案内・窓口

- 案内等の文字は見やすく大きく
- 案内表示等看板の「カタカナ」表示は極力少なくしてほしい
- 聴覚障がい者にもわかるように窓口などの呼び出しを工夫する
- 訪れやすい（表示等が分かりやすい）
- 手で自分の番号がわかるシステム

交流の場

- ミニコンサートができる広場（スペース）
- 多目的スペースがほしい
- 老若男女の人達が集える庁舎
- 近隣の市の物産展などがあるとよい
- 広い喫茶店や飲食スペースがあるとよい
- 休憩できるカフェ、喫茶店を大きく設けてほしい
- 喫茶店を最上階に開設してほしい
- 一般市民の知らない行政ならではのお得情報発信スペースがあるとよい
- 待合室に時間つぶしのできる簡易図書館みたいなのがあったらよい

見守り付きのキッズスペース

- 小さい子ども預かってもらえる
- 子供連れの訪問者が増えてくるものと思います。思い切って広く大きく設置してほしい

市民の安心・安全を守る庁舎

- 防災の中心となるように警察・消防など連携がとりやすい場所に配置する
- 新庁舎の屋上部にヘリポートを新設すると良い

広くて利用しやすい駐車場

- 駐車場の広い庁舎
- 駐車スペースを広くしてほしい
- 駐車場が広い
- 十分な駐車スペースの確保
- 立体駐車場にして各階に入れるような感じ
- 駐車場を広く設置してほしい
- 駐車場が広い
- 駐車場は庁舎に近いところがよい
- 駐車場は広く、大型トラブルならないようにする
- 道路からの導線もしっかり考える

全体的なデザイン

- 庁舎はセンスあるデザインで
- 職員の配置も工夫が必要
- 新庁舎について建築費の上昇の不安はどうか
- 近代的なつくり
- もう少し敷地を広くとれないか

その他

- 行政と市民が近づけるようなしくみづくり
- 来庁者ポイントカード等おもしろいのでは
- 手続きがドライブするーできたらよい
- 市長室は 1 階で周りからよくみえるところ
- ATM は 1 台でいろいろな金融機関が利用できるものがよい
- 土日に対応してもらえる
- コピーコーナーはほしい
- 夜や土日利用しやすい庁舎

4 班

新庁舎建設場所、機能配置など

- 福祉課は 1 階に設ける
- セントレアは使いやすい、成田はわかりにくい（案内）
- 庁舎場所は、市民公園駐車場に設ける場合、2 階に駐車場、1 階に窓口と福祉会館機能、1 階・3 階は市民利用大の窓口にする
- 福祉会館跡地は駐車場へ
- 現庁舎跡地は消防庁舎の建て替えとする
- 建物の構造を木造にする。視覚的にやさしい
- 階段はできるだけ少なくする
- 道路拡張を（設置周辺）
- 取り付道路

防災機能

- ヘリポート設置
- 災害に強い街 広域エリアへのサポート
- 災害に強い街 けが人用の仮ベッド設置可能
- 災害に強い街 自衛隊との強い絆（道路、コミュニケーション）
- 災害に強い街 食べ物（炊き出しできる機能、産文とタイアップも可）
- 災害に強い街 水源確保（井戸）
- 各務原市が助ける他市町村
- 福祉会議機能の強化
- 有事の際に機能を失わない

窓口機能

- 案内を見やすく、親切な受付対応を望む
- 土日の受付は無理
- 土日も営業、夜間も窓口があいているとよい
- たらいまわしにされない
- 窓口事務は、高齢化が進む中、使いやすいようにする
- 相談しやすい窓口づくり
- 365日営業（機能を絞って）
- 窓口機能の充実

利用しやすい設備

- エレベーターの増設
- トイレにウォシュレットがほしい
- おしゃれな食堂
- 木質バイオマスの利用、エネルギーの自給
- 薪ストーブ、エネルギーの自給
- 市の業務機関を全て新庁舎に統合→賛成意見多数

駐車場・駐輪場

- 充実した駐車場
- 駐車場の台数が多い方がよい
- 駐車場の確保
- 駐車場の24時間開放
- 本市は東西と長いいため、駐車場が広いとよい
- 立体駐車場の設置
- 市役所近くがよく渋滞するのはやめてほしい
- アピタの駐車場が売り場と駐車場が行きやすい

その他

- 安価な建物
- 宮殿のような庁舎
- 趣のある外観
- 仕切りのない広い事務所
- 市庁舎の建て替えは最優先か（橋、老朽化建物あり）
- 合理的庁舎
- シンプルな庁舎

5 班

誰もが利用しやすい庁舎

- 現在の庁舎の中は狭すぎる
- 安らげるスペースがほしい
- 外国の方への対応をよくすべき（通訳の人の採用など）
- 駐車台数が少ない、駐車場は広く
- 休日・夜間に使用しやすくなるとよい
- 夜間・休日の窓口を開設
- 手続きが一ヶ所で完結する窓口がほしい
- ワンストップ窓口
- 様々な大学や団体と提携して事業を行う（託児）

市民に親しまれる庁舎

- 対話のある市役所を目指すべき
- いろいろな人が訪れるように、イベント等開催できるスペース
- 市の歴史や文化を紹介するスペースを設ける
- 公園等の人の集まる場所の近くに建替えるとよい

市民の安心・安全を守る庁舎

- 水害対策は万全にすること
- 防災貯蓄倉庫（大きいもの）が必要
- 防災機能に特化した庁舎機能を持った建物にする
- 電力・水の確保を充分にすること
- 災害時の利用できるヘリポートを設置

建設場所など

- 学びの森では道路が狭い
- 集約して建てる
- 市の将来ビジョンを市民にわかりやすくアピールすべき
- 産文と本庁舎は近い方がよい
- 消防署の近くに建替すべき
- 表通りに面した場所に建替する
- 市民公園に建て替える
- 市民会館周辺に建替えてほしい
- 立体駐車場の屋根にソーラーパネル
- 少子高齢化を考えると大きな庁舎は必要ではない

6 班

誰もが使いやすい

- バリアフリー化（特に玄関）
- 使いやすいトイレ
- 子どもの遊びスペースの確保
- 携帯・スマホ等の充電するところを設置
- 内装の木質化、木のぬくもり

誰でも行きやすい

- 開放的な受付であってほしい
- 駅に近い
- 交通弱者にも来やすい
- 自分の行きたいと思っていたところがすぐわかる
- 行動の拡大を図る（周辺）

窓口機能

- 市行政会機能をまとめた庁舎
- 待たなくてもよい窓口
- 建物一つに全て集約してほしい
- 待合の時のゆらぎの所
- たらいまわしにされないよう、職員の対応の向上
- 支所を充実させる

駐車場

- 駐車スペースの拡大
- 駐車場広く
- 駐車場ゆったりと

開かれた庁舎

- 市長室のガラス化

交流機能

- 市民の対話ができるスペース希望
- スタバ

市のPR

- ロボットの利用
- 名物のアピール（キムチ等）
- アンテナショップ等

防災機能

- 非常口を増やしてほしい（わかりやすく）
- 新エネルギーによる自家発電施設（バイオマスとか）
- 防災拠点となる。災害に強い
- 災害時の避難所スペースの確保。例えば地下室など、広いロビー
- 本庁舎は防災機能を充実させる

省エネ

- 屋上を緑化、発電などに利用
- 省エネに対応した照明

その他

- 現庁舎は築何年か→42年
- 新庁舎は、蘇原瑞穂町、蘇原吉野町がよい
- 今何で建て替えなのかが疑問である

■ 10月22日（木）陵南福祉センター

■ 参加者 8名：2班



1 班

利用しやすい駐車場

- 庁舎への導線をしっかりと入りやすく、安全に
- 駐車場の台数確保
- いろいろな人が利用する施設だから安全に配慮
- 利用者の交通用具は88%が自家用車
- 車の駐車場に入れないことがある。若ければ離れた駐車場に停めてもよいが、高齢者や障がい者には厳しい

公共交通

- ふれあいバスが各地域から来てもらえるよう増やしてはどうか（市役所の乗り入れ）

窓口機能

- 現状、トイレがフロアに1ヶ所、奥まったところにしかない。分かりやすく、広くする
- キッズスペースで託児があると安心して窓口に行くことができる。ただし利用できるのは役所利用者のみ

防災機能

- 防災に関し、対策本部が市で独自だけではなく、綿密な連携を県・周辺・関係機関ととる
- しっかりと機能できる災害本部
- 自家発電システム太陽光も（災害時）ソーラーで売電できれば
- 耐震は専門家にしっかりと任せたい
- 災害時にはどうしても市役所に人が集まる
- 1階にはオープンスペースを増やす。いざ！という時に避難できる
- 何も無い空間が必要

情報発信機能

- 各務原市は広報を月2回、最近少なくなる中、しっかりやっていると思う
- 市民も文句を言うだけでなく、進んで情報を得る必要がある
- 例えば「あさけんポスト」のような取り組みも、もっと市民に伝えてほしい

利用しやすい機能配置

- トイレは窓口の近くにある方が使いやすい
- 喫煙空間を、屋外でもよいので設置してほしい。普段来ない人は、知らずに吸ってポイ捨ての可能性もある
- 喫煙は無秩序になるよりはコントロールした方がよい

交流機能

- 今、喫茶店が入りにくい。オープンな雰囲気のカフェ
- キッズスペースに保育士の配置をすれば何かあった時に素早い対応が可能になる
- 上層部にも市民が行けるスペースがあれば広く利用できる
- カフェの一角にキッズスペースがあってもよい
- 待ち時間に気楽に入れるカフェがあるとよい。交流の場になってもよい

議会機能

- 議場は市民に来てもらえる施設に。傍聴するといろいろな情報もよくわかる

その他

- 学びの森だと、土地は大きい敷地に勾配があり、バリアフリーには厳しいと思う
- 現庁舎の1階の吹き抜けは当時としては珍しい
- 動きが急ぎすぎているような気がする。建設の是非をもっと問いかけてほしかった
- 建設の是非を問う住民投票をしてほしい
- 建て替えに関して、知っている人も少ないのではないか
- 市民が納得するような説明が必要

2 班

窓口機能

- 機能を集約して、1つの建物に
- 支所で窓口業務を全てできるように
- 今の市役所は分かれているから不便
- 中央中学校のまわりなら自由度が高いと思う

利用しやすい設備

- ホールがせまい
- バリアフリーの観点は、今の庁舎はとても弱い
- 駐車場が狭い

市民に親しまれる庁舎

- 壁画が好きなので残るとよい
- 市民の作品をかざれるようなスペースがあるとよい

建設地

- 東の地域は市役所に行くのに不便
- 人口のバランスからすると那加でなくてもよい

市民の安心・安全を守る庁舎

- 学校等の優先順位が高いのが当然（耐震補強）
- 今の庁舎は、建築士の観点から大きな地震で倒れる
- 安全第一のため、建て替えが必要
- 省エネ等の観点からも建て替えが必要

その他

- 新庁舎の経緯についてが知りたい。今日はそのために来た
- 現庁舎がこれほど早く建て替えが必要なのか
- 見た目からは建て替えが必要とは思えない
- 情報が足りない

タウンワークショップの様子

